

# 平成29年度 管神中学校グランドデザイン

清くたくましく進んで向上をめざす生徒

《阿智野市 教育の重点》  
 ○基本理念 「自立・信頼・共生が拓く、私たちの未来・ふるさととの未来」  
 ・自立…主体的に学び、協働的に問題解決に取り組む姿勢  
 ・信頼…人と人とのかかわりに気づき、支え合う姿勢  
 ・共生…お互いのよさを認め、高め合う姿勢  
 ○小・中学校教育の重点  
 児童生徒一人一人の学びを保障し、思考力・判断力・表現力を高める授業改善を行う。

《家庭の教育力》  
 ○PTA活動  
 ・チャレンジキャンプ、空きびん回収、除草作業)  
 ・部活動への支援  
 ・家庭学習の習慣化  
 ・メディアコントロール、食育

《学校の経営方針》  
 協働と参画 ベクトルを同じに  
 ～「職員集団としての教育力」と「家庭や地域の教育力」～

《協働》  
 ①職員一人一人が、教育目標、目録・ねらい、「育てたい生徒像」等に向けてのベクトルを同じにし、ひとつのことに全校体制で協力して取り組んでいく。  
 ②職員一人一人のよさを結集することで、総合体としての教育力とする。  
 《参画》  
 地域や保護者の教育力を積極的に出していただき、様々な教育活動に力を発揮していただくとともに、学校は、地域貢献等を充実させ、学校の教育力を向上させる。

《学校運営の重点》  
 (1) 学習指導の充実 (2) 学校経営の充実 (3) 心の教育の充実  
 (4) 健康な心身の育成 (5) 特別支援教育の充実  
 (6) 地域・保護者と連携した教育活動の展開

《学校課題》  
 (1) 学力の向上 (2) よりよい集団づくり

《新潟県 学校教育の重点》  
 ○学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する教育の推進  
 ○豊かな心なごむ教育の推進(道徳教育の充実)  
 ○いじめを見逃さない、いじめを許さない意識の醸成  
 ○(いじめを見逃しゼロスクール)の推進  
 ○健康でたくましく育む教育の充実  
 ○一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育の推進  
 ○未来を切り拓くキャリア教育の推進  
 《努力事項》  
 ・人権教育、同和教育、グローバル人材育成  
 ・防災教育、教育の情報化  
 ・探究教育、健康教育、食育  
 ・図書館教育、健康教育

《地域の教育力》  
 ○チャレンジキャンプへの支援(消防、山の会)  
 ○学校ボランティア(芸術鑑賞作品の展示など)  
 ○学校関係者評価  
 ○学校保健委員会

《小中連携》  
 ○小中連携強調週間  
 (部活動体験、出前授業)  
 ○学習習慣向上期間  
 ○小中連携研修会  
 ○三校全体会  
 ○中学校区訪問研修

《研究主題》 学ぶ喜びを共有しあう、活力ある集団の育成 ～「主体的・対話的で深い学び」のある授業の工夫～

《知の分野》  
 ○学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する。  
 ・授業において、「主体的・対話的で深い学び」を推進する。  
 ・月1回のWebテストを実施、分析することで、生徒の基礎的学習内容の定着を図る。  
 ・毎日のチェック活動を通じて、家庭学習の習慣化を図る。

《徳の分野》  
 ○豊かな心をはぐくみ、思いやりの気持ちをはぐくむ。  
 ・生徒が主体的に活動するよう、すべての教育活動において生徒が前面にでるよう企画、運営を行う。  
 ・「挨拶」、「返事」を重点事項として、基本的な生活習慣が身に付くよう指導する。  
 ・Q-Uテストを実施し、クラスで望ましい人間関係の形成を図る。  
 ・いじめ根絶集会を実施し、いじめをゆるぎない集団の育成を図る。  
 ・道徳教育推進教師を中心にして道徳の授業の充実を図る。

《体の分野》  
 ○望ましい生活習慣の確立を目指す。  
 ・パワーアップキャンペーンを実施し、生徒の生活習慣の向上(特にメディアコントロール)を図る。  
 ・市の事業(生活習慣予防検診、骨肉炎予防検診、性に関する学習会など)にあわせて、健康に関する啓発活動を行う。  
 ・便りなどを活用して、食育を推進する。

《キャリア教育を基盤とした教育活動の創造》

○郷土愛 ○人間関係形成・社会形成能力 ○自己理解・自己管理能力 ○課題対応能力 ○キャリアプランニング能力 ○キャリア教育を基盤とした教育活動の創造

